



# ぎふ労福協

岐阜県労働者福祉協議会 編集発行人/高田勝之

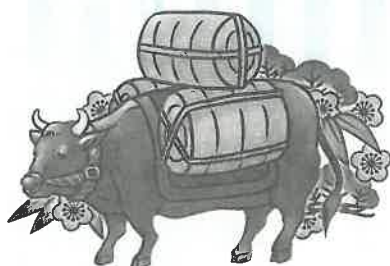
vol.116

2021.1.1

岐阜市鶴舞町2-6-7  
ワークプラザ岐阜内  
TEL(058)248-6029  
FAX(058)245-2410

【岐阜労福協機関紙】 連合岐阜・東海労働金庫・こくみん共済coop・岐阜県勤労福祉センター <http://www.gifu-rofuku.jp/>

新年の  
ごあいさつ



岐阜県労働者福祉協議会  
会長 高田勝之

岐阜県労働者福祉協議会の会員並びに関係者の皆さん、新年明けましておめでとうございます。それぞれのご家族共々、新たに新年を迎えられましたことと推察を致します。同時に本年が皆さんにとって、実り多き年となりますよう、ご祈念を申し上げます。

さて昨年は、『新型コロナウイルスの感染拡大』によって、私達の日々の暮らしが一変すると共に、経済や社会に極めて大きな影響がもたらされた1年でありました。『我慢』の1年であったと申上げても過言ではありません。岐阜労福協としても、感染拡大によって、総会を対面で開催することが出来なっただけでなく、災害被災地への視察が困難となるなど、大きな影響を受けました。どうか少しでも早く感染拡大が終息し、普通の暮らしを取戻したい、そう祈るばかりです。その為に大切な事、それは私達自身が『自分の身は自分で守る』という強い危機意識を持ち続ける事ではないでしょうか。基本中の基本である、手洗いうがい・消毒・マスクの着用・三密回避・居住空間の十分な換気など、徹底した感染防止対策を継続していただきますよう、お願いしたいと思います。

さて今年はどうなる年になるのでしょうか。正直申上げて予測はできませんが、期待を込めて申上げるならば、7月23日開幕予定の東京五輪迄には『新型コロナウイルス

感染拡大』が終息をし、無事に開催される事、そして五輪を契機として、大きなダメージを受けた経済が回復をし、社会に活気が戻る、そんな年になってほしいと願うばかりです。その期待をしながら、当面の間は岐阜労福協としての様々な運動は、決して後退をさせることなく、工夫をしながら進めていきたいと考えています。ぜひご理解をいただければと思います。

もう1点申上げておきたいと思います。岐阜労福協は2023年に設立70周年を迎えます。人間でいえば『古希』であります。一つの通過点に過ぎないのかもしれませんが、大きな節目であることに違いはありません。私達を取巻く環境が激動の中、新たな時代へ向け、労福協としての運動がどうあるべきなのか、今後皆さんと議論を重ねていく事ができればと思っています。

最後に私事で恐縮ですが、本年11月には還暦を迎えます。節目を迎えるにあたり思いますこと、それは他でもなく『健康第一』であります。新型コロナウイルスの感染防止はもちろんの事、日々の暮らしにも充分に留意していきたいと思います。皆さんのご健康とご多幸をご祈念申し上げ、2021年の年頭にあたり、ご挨拶と致します。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

2020年  
活動報告

# こども食堂ぎふネットワーク 「キャラバン隊」への助成活動

▶高田会長あいさつ



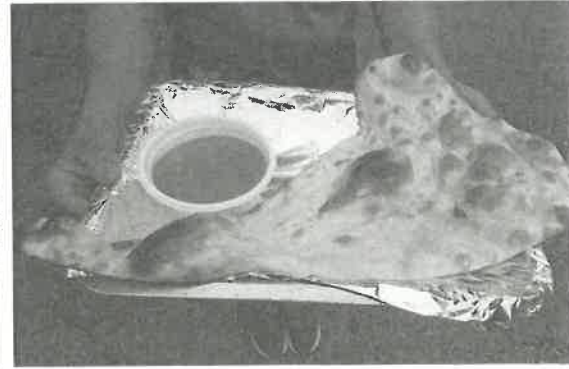
◀会長より宮崎代表へ目録贈呈



▶キャラバン隊キッチンカー



◀チキンカレーとナン



5月10日(日)に岐阜市神田町の円徳寺境内において、こども食堂ぎふネットワーク主催による「移動こども食堂」のキャラバン隊出発式が行われました。

地域の「こども食堂」は、4月7日(火)夕刻に出された「緊急事態宣言」により、難しい岐路に立たされていたため、2月末の突然の一斉休校から、県内の運営者のみなさんは、継続か、中止か、お弁当の配布か、食材配布か、と悩みながら活動を続けていました。

今回のキャラバン隊は、こども食堂ぎふネットワークとして、県内各地へキッチンカーによる「移動こども食堂」を実施することで、子どもたちの食生活の安定と保護者の負担軽減の一助となることを目的に実施されました。

岐阜労福協としては、活動方針にもとづき、各種NPO団体や市民団体と連携した取り組みをすすめる、労働者福祉事業団体としての社会的役割を發揮する立場から、今回のこども食堂ぎふネットワークの取り組みを支援していくこととしました。

当日は、午前10時15分より出発式が行われ、宮崎代表による主催団体挨拶につづき、支援団体代表として、高田岐阜労福協会会長より「今回の取り組みに共感し、子どもたちを支援してやりたい」と挨拶がされました。

挨拶に続き、支援金の授与が行われ、会場全体がお礼の拍手に包まれました。

出発式後11時より、キッチンカーの3名とネットワークスタッフ16名による「ネパールインドチキンカレー」と「焼き立てナン」の提供がはじまりました。

具体的な提供方法としては、感染防止対策として、ホームページでの完全予約制で、約20名を1グループとしてグループ分けを行い、あらかじめメールによって20分間隔で手渡しする時間が連絡されており、混みあわないように配慮されました。

受け取りに来られたみなさんは、受付で検温と手指のアルコール消毒、マスクの提供を受けたあと、2m以上の間隔で順番に並び、密接・密集を避ける手立てがとられていました。

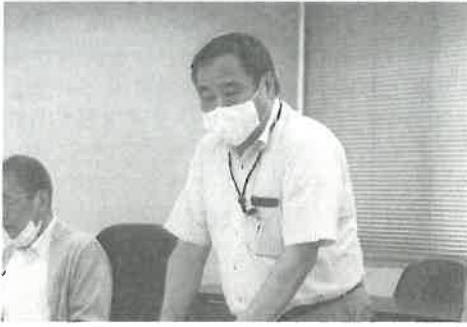
受け渡し場所の手前では、全国で日夜感染治療にあたる医療従事者に対する「感謝のメッセージボード」が設置され、受け取りに来られたみなさんが感謝の言葉を記す姿をみることができました。

当日は、報道各社も訪れ、会場内外での取材風景がみられました。

お昼前には予定した受け渡し終了し、合計で28組114食の提供が完了しました。この取り組みは、可児市内、関市内、大垣市内、羽島市内高山市内でも行われました。



## 2020年度 第1回中部労福協 東海ブロック連絡会議 開催



▲愛知労福協畑会長あいさつ



▲会議の様子

7月2日(木)午後2時より、2020年度第1回中部労福協東海ブロック連絡会議が名古屋市熱田区金山の「ワークライフプラザれある」にて開催されました。

本来は、5月31日に予定されていましたが、コロナウイルスの関係で中止延期となり、本日、改めて開催となりました。

会議でのマスクの着用はもちろんの事、主催県である愛知労福協にご配慮いただき、会場入口での検温、アルコール消毒を徹底した上で、ソーシャルディスタンスを守っての開催となりました。

冒頭、開催県を代表し愛知労福協の畑会長よりご挨拶をいただきました。挨拶の中で、コロナウイルスの影響で、特に飲食・ホテルの関係は壊滅的な打撃を受けていること、持続化給付金については多くの問題点があること、最後に、今日の会議では、各種支援事業について労福協として何か行うことができないか、意見交換をしていきたい、と挨拶いただきました。

また、今回(一財)愛知県労働者福祉基金協会(ハートフルセンター)から三島理事長をお招きして、国が8月から予定している「Go To トラベルキャンペーン」について説明を聞かせていただきました。

議題では、各労福協からの活動報告および、コロナ関係を含めた今後の活動方針について、それぞれ報告いただきました。

その後、意見交換では、コロナ禍における当面の対応についての意見交換が行われ、三重労福協からは、労福協の会員からの意見として、東京都が行っているコロナ対策としての「生活融資(無利息100万円)」の融資について、三重県に対しての折衝経過を踏まえ、東海三県で同じような制度ができないものか、との提案に対し意見を交わしました。

また、コロナ禍の中でのWebを含めた会議の在り方についてなど、この間の在宅勤務時での対応など多岐にわたり協議、意見交換等を行いました。

## 2020年度 第2回中部労福協 東海ブロック連絡会議開催

10月18日(日)午後3時より、2020年度第2回中部労福協東海ブロック連絡会議が東海労働金庫可児支店の会議室において開催されました。

冒頭、開催県を代表して岐阜労福協の高田会長より、歓迎の挨拶があり会議が始まりました。

今回の連絡会議の議題としては、各県報告に続き、現在、中央労福協ですすめられている「ろうふくエール基金」について、東海三県における今後の取り組みに向けた意見交換を行いました。

当面は対応を急ぐことなく、全国的な状況を見極めることを確認しました。また、各県で取り組まれている「自治体要請」についても、情報交換を行いました。



▲高田会長のあいさつ



▲会議会場の様子





## 2020年岐阜労福協主催 理念・歴史・政策セミナー開催!

9月9日(水)「ワークプラザ岐阜」5F大ホール、9月10日(木)土岐支部主催で「土岐市文化プラザ」視聴覚室の2会場において、2020年度理念・歴史・政策セミナーを開催しました。

今年度は、講師に労働者福祉中央協議会講師団講師の黒河悟氏をお招きし、「労働者自主福祉運動の発展に向けて」～中央労福協70年の歩みと2030年ビジョン～と題して講演いただきました。

最初に、「中央労福協70年の歴史(歩み)の押さえどころ」について、連合結成の前後に区切って、労福協の歩んできた歴史の説明がありました。

まず、設立から連合結成まででは、①労福協は「福祉はひとつ」ではじまったこと、②労働者のための福祉と労働者・労働組合が主体となったことなどが押さえどころとして触られました。特にその中で、1953年の労働金庫法の制定前に31の都道府県で労働金庫(前身も含む)が設立されたこと、そして1954年大阪福対協が全大阪労働者共済生活協同組合を設立し、火災共済事業を開始するも、翌年火災共済事業を開始した新潟で5か月後に新潟大火が発生し、存立の危機を克服したことなどが、力強く語られました。

次に、連合結成後の労福協については、①未組織労働者や国民的福祉へと運動領域を拡大してきたこと、②地方では2003年から「行動し、提案する労福協」をスローガンに、「ライフサポート事業」の全国展開の取り組みや、「フードバンク」「子ども食堂」などに対する支援活動の取り組みを行ってきたことなどが紹介されました。

また、「中央労福協2020年ビジョンの振り返り」では、策定された2010年当時の社会・経済状況や2020年ビジョンがめざし、実現しようとしたことなどについて説明がありました。

最後に、「2030年ビジョン策定の中で、議論されてきたこととこれからの実践について」①2030年ビジョンの押さえどころや、②ビジョンを実践していくうえでの課題などが触られました。



▲岐阜会場の様子

当日のそれぞれの会場は、コロナ禍での開催により定員を制限したこともあり、例年よりは少ない参加人数となりましたが、用意した席がほぼ埋まり、岐阜会場:48名、土岐支部会場:33名の参加者がありました。両会場とも若年層の参加者も多く、講演を熱心に聞き入る様子が見受けられました。



▲土岐支部会場の様子



▲講師の黒河悟氏



## 岐阜県勤労者 チャリティー文化講演会開催



▲講師の板橋和朗氏

10月9日(金)午後6時30分からワークプラザ5階大ホールにおいて、講師に文芸同人誌「美濃文学」代表の板橋和朗氏を招き、「戦国の美濃を巡る光秀、道三、信長の足跡～歴史物語のおもしろさ～」と題し、岐阜地区勤労者チャリティー文化講演会を開催しました。

今年度の文化講演会の開催にあたっては、①開催延期とした5月28日の記念講演会も含めた文化講演会として開催する。②新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じながら開催することなどを基本に検討をすすめてきました。

検討をすすめる中で、今日のコロナ禍においては、①例年のような500名規模の参加者を募る講演会は開催できないこと。②100名規模の会場で、50名程度の定員で県下3～4会場で開催すること。③万が一の感染拡大防止対策として、参加者の連絡先を把握することなどしました。講師は、岐阜県内で活躍されている方に限定し、現在、岐阜市まちなか案内人として登録し、岐阜公園、金華山(岐阜城)、金華校下(旧岐阜町・川原町)の観光案内を行っている板橋和朗氏に依頼しました。講師の板橋氏は、「岐阜市まちなか博士上級認定」、「岐阜市信長検定認定」の経歴を持ち、文芸作品の創作など、幅広く活躍されています。

今年には特に、NHKの大河ドラマ「麒麟がくる」で岐阜県とのかかわりが深い戦国武将、明智光秀が主人公になっています。光秀の青春時代は謎も多い中で、



▲講演会場全体の様子

# 2020年度 第1回岐阜労福協産別代表者会議

岐阜労福協では、中央労福協の「2020全国福祉強化キャンペーン」と労働福祉事業団体の事業推進と利用拡大に向けた取り組みの一環として、10月13日(火)午後3時50分より、各産別代表者18名の出席の中、2020年度第1回岐阜労福協産別代表者会議を「ワークプラザ岐阜」5階大ホールにおいて開催しました。



▲高田会長のあいさつ

岐阜労福協からは、会員産別に対して、以下の7項目について要請しました。

## 1.労働福祉事業団体の広報・宣伝や事業推進の取り組みについて

- (1) 貴組織や加盟労組において、定期大会の運動方針に、労働福祉事業団体の事業推進や利用拡大に関する方針の記載や補強をお願いいたします。
- (2) 貴組織や加盟労組の取り組みに関する理解を深めるために、定期大会の議案書を各労働福祉事業団体の担当職員に渡していただきますようお願いいたします。
- (3) 貴組織や加盟労組と各労働福祉事業団体との更なる連携や、利用促進に向けた取り組みをお願いいたします。
- (4) 貴組織や加盟労組の各種会議資料や機関紙・誌等に、各労働福祉事業団体の広告の掲載をお願いいたします。
- (5) 貴組織や加盟労組において、各労働福祉事業団体の事業についての研修会や説明会を企画、開催していただきますようお願いいたします。
- (6) 労働者福祉運動の担い手の育成に向け、岐阜労福協や労福協支部が主催します各種セミナーやイベントへの参加をお願いいたします。
- (7) 上記の取り組みについて、貴組織から加盟労組にご周知下さいますようお願いいたします。

## 2.各福祉事業団体の利用拡大・促進の取り組み要請項目については、以下の通りです。

- (1) 東海労働金庫
    - ① 団体・個人預金
    - ② iDeCo・つみたてNISA
    - ③ 家計の見直し運動
  - (2) こくみん共済coop岐阜推進本部
    - ① 団体生命共済
    - ② こくみん共済・長期生命共済
    - ③ マイカー共済・自賠責共済
    - ④ 住まいる共済(火災共済・自然災害共済)
  - (3) 岐阜県勤労福祉センター
    - ① ワークプラザ岐阜会議室の利用拡大
    - ② ライフサポートセンターぎふの取り組み周知
- 各要請項目について全体で確認し、4時40分に終了しました。



▲会議会場の様子

美濃明智荘で生きてきたのではないかとわれています。

講演では、大河ドラマを見据えつつ、歴史物語の中で、光秀はいかに描かれてきたかを追い、講師自身の現在までの経験を交え、いろいろなお話を聴くことができました。

また、講演の中では、戦国城下町岐阜の「街歩き」の楽しみ方の紹介も予定されていましたが、時間の関係で触れられなかったことが残念でありました。

当日は、台風が近づく雨天で、足元が悪いにもかかわらず、全体で48名のみなさんに参加していただきました。会場の全員がマスク着用、入り口での検温とアルコール消毒の実施など、感染予防対策を徹底した中での講演会となりました。

講演を聴きながら、美濃の戦国武将である光秀、道三、信長の足跡をたどることにより、ドラマのワンシーンを回想することができました。当日のチャリティー募金は、5,399円のご協力がありました。

なお11月13日(金)午後6時30分には、高山市民文化会館4階大会議室において、飛騨支部主催勤労者チャリティー文化講演会が開催されました。また、11月20日(金)午後6時30分から東海労働金庫中津川支店会議室において、中恵支部主催勤労者チャリティー文化講演会が開催されました。

何れも講師には、岐阜地区と同様、文芸同人誌「美濃文学」代表の板橋和朗氏にお願いし、飛騨支部主催の講演会では戦国時代の飛騨の歴史にもスポットをあて、初代高山藩主「金森長近」が藩主となるまでの経緯にも触れて講演いただきました。また、中恵支部主催では戦国時代の東濃地方の歴史にもスポットをあて、ゆかりのある遠山氏による統治の歴史や岩村城を巡っての武田氏と織田氏の攻防などについて、興味深い話が聴けました。なお、チャリティー募金は、飛騨支部主催では、6,176円、中恵支部主催では4,335円のご協力がありました。

何れも、被災地の復興支援に役立てさせていただきます。ご協力ありがとうございました。



▲飛騨支部主催講演会場の様子



▲中恵支部主催講演会場の様子



## 第16回岐阜県社会貢献顕彰者追悼式

10月15日(木)午前11時30分より、雲ひとつない秋晴れの下、社会貢献顕彰碑前で第16回岐阜県社会貢献顕彰者追悼式を執り行いました。

今年度新たに銘板を奉納される方はなく、現在顕彰碑に奉納されている顕彰者は、22名となっています。

追悼式は、参列されたご遺族10名と顕彰委員会委員ら19名の併せて29名の出席により執り行いました。

清々しさの中、井端事務局長の進行により、追悼式は厳かにすすめられました。

冒頭、故人を偲び、出席者全員で黙祷を捧げました。

続いて顕彰委員会の高田委員長より、岐阜県における労働運動や社会運動、平和と民主主義を守る運動に貢献された先人の霊を慰め、その功績を偲ぶために建立された顕彰碑「やすらいの碑」の説明と参列者への感謝を伝える挨拶がありました。

その後、ご遺族ならびに参列者全員、顕彰碑に献花を行い、追悼式を終了しました。



▲顕彰者追悼式の様子



▲井端事務局長の進行



▲やすらいの碑

## 勤労者福祉の向上をめざし岐阜県へ要請



▲高田会長あいさつ

冒頭、高田会長のあいさつのもと、要請書の受け渡しが行われました。

続いて、井端事務局長から要請内容の説明を行いました。岐阜県側からは、崎浦商工労働部長より要請書の受領あいさつを受け、続いて、各課担当責任者から要請書に対する回答内容についての説明がありました。回答説明後に回答に対する質疑応答が行われ、要請行動は10時40分に終了しました。

11月16日(月)午前10時より、岐阜県水産会館中会議室において、2020年度の岐阜県への要請書を提出しました。

要請内容は、

1. 地方におけるSDGs(持続可能な開発目標)の推進
2. コロナ禍での緊急住宅政策
3. 格差の是正・貧困のない社会に向けたセーフティネットの強化
4. 被災者支援と防災・減災の取り組み
5. 消費者・県民の安全・安心の取り組み

の5つの課題11項目でありました。



▲要請書の受け渡し



▲対県要請会場の様子



# 第23回岐阜労福協チャリティーゴルフコンペ開催

11月6日(金)午後から薄日の差す天気の中、毎年恒例の岐阜労福協チャリティーゴルフコンペを「ぎふ美濃ゴルフ倶楽部」において開催しました。

今大会は労福協各支部・事業団体・産別代表により、16チーム62名の参加があり、各支部での予選会を勝ち残った精鋭や腕自慢のみなさんがプレーを楽しみました。

結果は、団体優勝:西濃支部、準優勝:連合岐阜、3位:労福

協岐阜支部となりました。また、個人戦は、優勝:隣垣学さん(連合岐阜)、準優勝:林伸之さん(労福協西濃支部)、3位:安田直樹さん(連合岐阜)でした。

コンペでは、ショートコースワンオンチャリティー募金を行い、62,425円の募金協力がありました。協力いただいた募金は、岐阜労福協を通じて、義援金として東日本大震災の被災地をはじめとした全国各地の被災地へ寄付をさせていただきます。



優勝/西濃支部



準優勝/連合岐阜



3位/岐阜支部

# 第56回岐阜県勤労者球技大会



## ソフトボール県大会

雨天順延で1週間遅れの9月20日(日)に各務原市総合運動公園において、第56回岐阜県勤労者球技大会ソフトボール県大会を開催しました。当日は、雨天の心配もありましたが、薄曇り空の下、熱戦が繰り広げられました。本年は、コロナウイルス禍での開催となり、参加チームの減少により、開催そのものが心配されましたが、最終的には4チームの参加により、開催することができました。

開会式では、主催者を代表して井端事務局長の挨拶につづき、例年前年度優勝チームと準優勝チームによる優勝杯・準優勝盾の返還を行っておりますが、両チームとも参加がなく、紹介にとどまりました。

9時30分より試合が開始され、決勝戦の結果、優勝は丸順労働組合チーム、準優勝は三菱電機工機課チームに決定し、けがをされた方もなく、11時30分に県大会は無事終了しました。



優勝/丸順労働組合



準優勝/三菱電機工機課



## ボウリング県大会

11月15日(日)午前10時から岐阜市内マーサボウルにおいて、第56回岐阜県勤労者球技大会ボウリング県大会を開催しました。岐阜労福協各支部の予選を勝ち抜いた、上位2チーム(内、3チーム欠場)と昨年の県大会での優勝・準優勝チームの合計11チームで熱戦が繰り広げられました。今年はコロナ禍での開催となり、レーンの定員制限で出場チーム数も制限せざるを得ない状況となりました。

1人3ゲーム、チーム4名の合計点数により団体戦を行い、結果、優勝:イビデン労働組合A(総得点2331点)、準優勝:カワボウ(総得点2139点)となりました。また、個人賞は優勝:加納裕二さん(カワボウ)総得点651点、準優勝:米村富佐夫さん(イビデン労働組合A)総得点608点、3位:服部和敏さん(イビデン労働組合A)総得点599点となりました。

ハイゲームは、米村富佐夫さんの246点でした。



優勝/イビデン労組A



準優勝/カワボウ



競技会場の様子



こくみん共済 (NFYS)

# 謹賀新年



公式キャラクター ヒトくん(中央)と  
ヒトくんファミリー

2019年6月、全労済から「こくみん共済 coop」へこの1年間、「たすけあいの輪をむすぶ」を合言葉に、共済という「たすけあいの仕組み」を通じて、事故や病気、大きな災害など、組合員の「もしも」を支えてきました。そして、もっと多くの人と、「たすけあいの輪」をむすぶため、共済だけでなく、私たちにできることに取り組みます。豊かで安心できる社会にむけて、2年目の挑戦がはじまります。

こくみん共済	組合員優待共済	せいめい共済	火災共済
自然災害共済	マイカー共済	自賠責共済	交通災害共済
団体会生共済	賃貸借移住共済		

こくみん共済 coop 岐阜推進本部  
(岐阜県労働者共済生活協同組合)

「たすけあいの輪をむすぶ」  
**こくみん共済〈全労済〉**  
LIFE ASSURANCE CO., LTD. 2320U08

「こくみん共済 coop」は福利を目的とした保障の仕組みとして共済制度を継承し、相互扶助の精神に基き、組合員の皆で支えあふ安心な暮らしを実現することを目指しています。この意図に賛同した方が、出資金を払い込んで協会の新たな活動地域の共済生活協同組合となることで共済共済制度をご利用いただけます。

あけまして  
おめでとーうーいす

本年もよろしくお願ひ申し上げます

令和三年 元日



はたらくあなたの  
いちばんそばに。

## ワークプラザ岐阜

### 無料駐車場80台完備

各種研修や会議、イベント、セミナーなど皆さまの多目的な用途に応じて大小さまざまな研修室を充実した設備とリーズナブルな料金でご用意しております。



〒500-8163 岐阜市鶴舞町2丁目6番地7  
TEL / 058-245-2411 FAX / 058-245-2416  
URL <http://work-plaza-gifu.lekumo.biz/workplaza/>  
駐車場 / 80台  
休館日 / 12月29日～1月3日

会場名	面積(m <sup>2</sup> )	収容人数	駐車場の人数
大ホール	305.87	210	80
大会議室	131.57	78	25
大会議室	123.62	78	25
中会議室	62.38	36	12
小会議室	404	37.16	16
	405	(12.5畳)	12

# 新春のお慶びを申し上げます

東 海 労 働 金 庫

こくみん共済coop 岐阜推進本部

(一社)岐阜県勤労福祉センター

専務理事 舟口 憲雄

本部長 豊田 由二

理事長 高田 勝之